

お知らせ

14号松原線大和川料金所拡幅効果のお知らせ ～大和川料金所からの渋滞が解消されました～

阪神高速道路公団が14号松原線通行止め工事に合わせて実施しました大和川料金所拡幅事業の効果についてお知らせいたします。

記者発表資料

1.大和川料金所を拡幅

阪神公団が平成15年10月21日(火)から平成15年10月29日(水)にかけて実施いたしました14号松原線通行止め工事に合わせ、大和川料金所のブース数を5ブースから6ブース(一般4ブース+千鳥2ブース)に増設し、通行止め工事完了後から運用を開始しました。

2.料金所拡幅による効果

大和川料金所の拡幅により次のような効果が現れました。

(1)渋滞の解消

大和川料金所の処理能力が向上したことにより、大和川料金所から西名阪自動車道合流部にかけて恒常的に発生していた平日朝夕ピーク時の渋滞がほぼ解消しました。

(2)所要時間の短縮

渋滞がほぼ解消したことにより従来の渋滞区間であった西名阪道合流部から大和川料金所までの所用時間が約12分から約3分(いずれも平日の朝7:00～8:00の時間帯)と大幅に短縮しました。

(3)渋滞解消による経済効果

渋滞の解消により、それまで生じていた時間損失が大きく改善され、その効果は1日あたり約350万円、年間では約9億円以上と算定されます。

お問い合わせ先

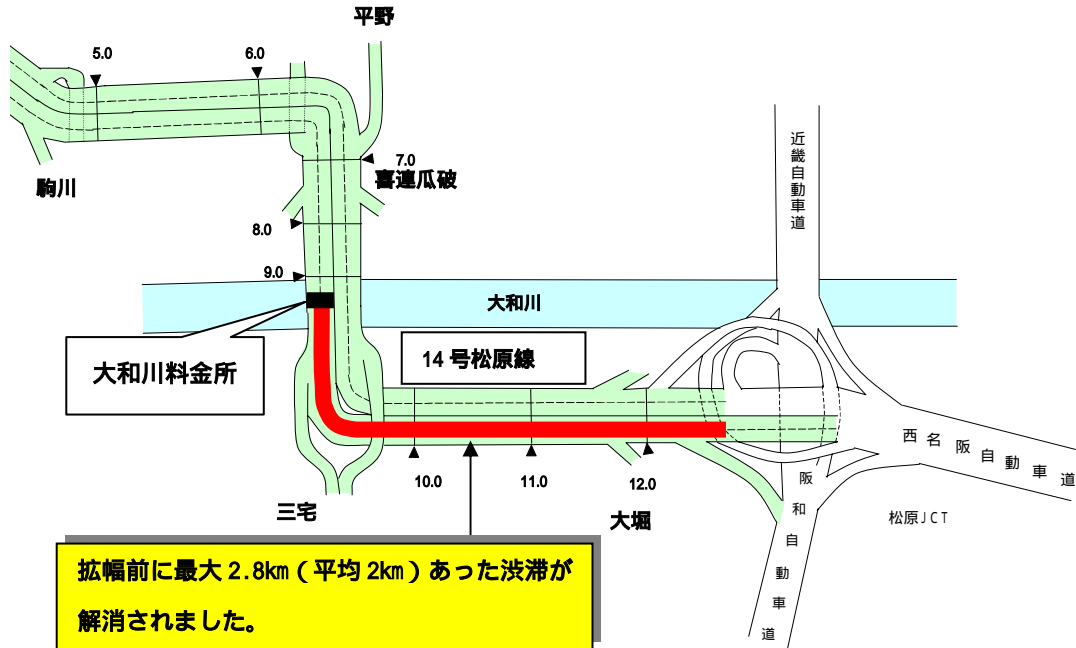
阪神高速道路公団

計画部 調査課 TEL 06-(6252)-8121(代表)

拡幅の効果

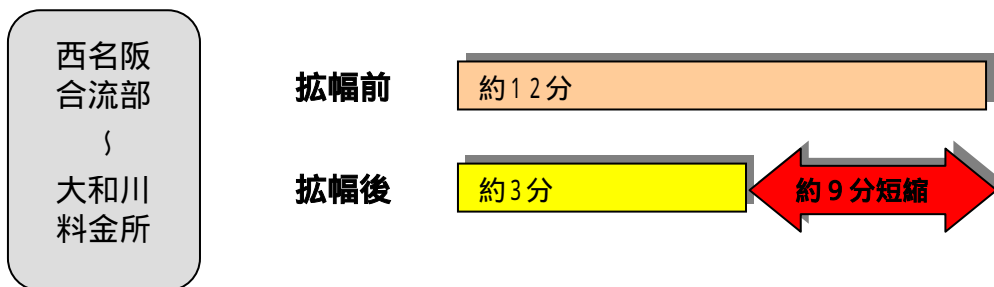
(1) 渋滞の解消

大和川料金所の処理能力が向上したことにより、大和川料金所から西名阪自動車道合流部にかけての渋滞がほぼ解消しました。



(2) 走行時間の短縮

料金所通過までの所要時間が短縮しました。



平日の朝7:00~8:00の所要時間を比較

(3) 渋滞解消による経済効果

走行時間の短縮に伴う損失額の減少分は以下のとおり算出されます。

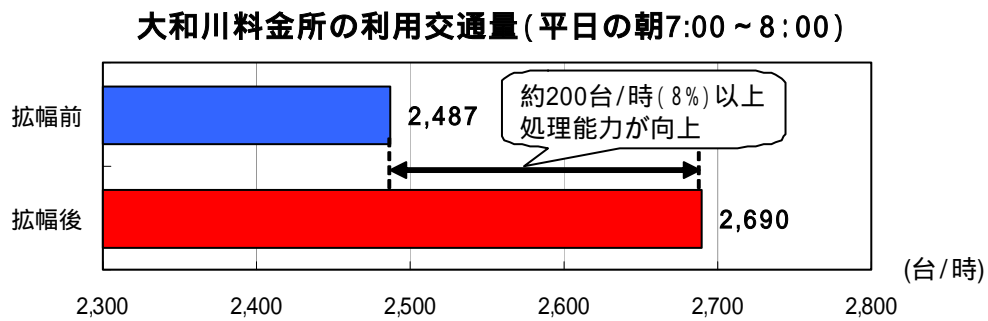
1日あたりでは **約350万円**

年間では **約9億円以上**

(参考) 料金所改築費用 約5,500万円

(4) 大和川料金所の処理能力の向上

料金所の処理能力が拡幅により向上しました。



上記資料は、拡幅前9/11~9/30、拡幅後10/29~11/17のデータに基づく。

[14号松原線大和川料金所 位置図]



以上

(参考)料金所拡幅事業の概要

1. 工期 平成15年10月21日～平成15年10月29日
(松原線通行止め工事に合わせて実施)
2. 工費 約5,500万円
3. 内容 料金所ブースの増設
拡幅前 5ブース
拡幅後 6ブース(千鳥ブース:下図参照)

【概略平面図】

